

基礎基本技能の習得と身に付けた技能を校外清掃に生かすことで自信や成就感を高める取組

【学校名：千葉市立高等特別支援学校】

 ~取組のポイント~

本校のビルクリーニング班では、清掃検定を活用して全員が清掃の基本技能を習得できるように取り組んでいる。近隣の学校等で校外清掃を実施し、身に付けた技術を多くの人に評価してもらうことで、学習意欲の向上につなげている。小学校での校外清掃では、児童に対し「お掃除講座」を実施し、交流を深めた。

1. 実践の概要

(1) 対象生徒

千葉市立高等特別支援学校 ビルクリーニング班 1～3年生

本校は軽度の知的障害のある生徒が通う高等部単独の特別支援学校である。92名の生徒が6班に分かれて作業学習に取り組んでいる。その中で前期18名、後期19名の生徒がビルクリーニング班に所属し、清掃を通して働く力を身に付けるために学習をしている。校内検定は全員行い、その中から代表として3年生5名、2年生1名の計6名が千葉県特別支援学校清掃検定に出場した。

(2) 教科・領域

作業学習（ビルクリーニング班）

(3) 目標

基礎基本技能を身に付けよう

(4) 学習計画

前期	後期	単元名・学習内容
4月	11月	「基礎基本技能を身に付けよう」 自在ぼうき・テーブル拭き・水モップ・ダスタークロス 自在ぼうき・テーブル拭き校内検定実施
5月 6月	12月 県検定	「学校や地域の窓をきれいにしよう」 窓清掃・窓清掃校内検定実施
7月	1月	「トイレ清掃の方法を身に付けよう」 トイレの日常清掃・定期清掃
9月	2月	「ポリッシャーを使い床をきれいにしよう」 ポリッシャーの正しい使い方・洗剤や剥離剤について
10月	3月	「グループ清掃をしよう」 自分たちで清掃場所や清掃内容を考えて、計画を立てて清掃を実施

校外清掃スタート



2. 実践の内容

(1) 基礎基本技能の習得

ビルクリーニング班では、半期を5つの単元に分けて学習を行う。その中で前半にある2つの単元「基礎基本技能を身に付けよう」「学校や地域の窓をきれいにしよう」で校内検定を活用している。清掃検定マニュアルにある、雑巾の絞り方や自在ぼうきの持ち方などは、ど

の清掃内容でも活用できる基本技能が多く含まれている。そのため、半期の中でも初めの方に校内検定を実施して全員が基本技能を身に付けられるようにしている。その際、ビルクリーニング班の経験のある2・3年生が中心となりマンツーマンで清掃を教えている。退屈になりがちな基礎基本練習の単元で「校内清掃検定で1級獲得」という目標を設定することで、生徒たちがモチベーションを上げて学習に取り組むことができた。

(2) 地域とつながる校外清掃の実施

身に付けた技能を学校内だけではなく、多くの人に評価してもらうために窓清掃を中心に校外清掃を実施している。地域の小中学校や保育所、千葉市内の学校、千葉市教育会館、企業などから依頼を受けて清掃活動を行った。校内検定1級を目指し身に付けた技能を校内だけではなく、様々な現場で発揮していくよい機会となっている。多くの人に見られることで、よい緊張感を持って活動をすることができた。また、多くの人から「ありがとう」の言葉もらい、人の役に立つ、感謝される喜びを感じられる活動となっている。今年度は41回の校外清掃を実施することができた。

(3) 小学校における「お掃除講座」

校内検定で1級を獲得した生徒の中から代表で6名が県検定に出場する。その6名が自分たちの身に付けた清掃技能をもとに、小学生に清掃を教える「お掃除講座」を行った。地域の小学校に出向き、小学6年生に「テーブル拭き」「自在ぼうきを使った廊下清掃」「窓清掃」の方法を教えた。当日は、雑巾の絞り方や持ち方、手順、ほうきの管理方法など学習した内容を小学生の発達段階に合わせて教えることができた。また、「なぜこの方法がよいのか」と理由も踏まえて教える姿も見られた。お掃除講座後には「6年生のみんなが上手に清掃できるようになって良かった」「掃除の楽しさが伝わったかな」「すごいわかって嬉しかった」と満足げに話す生徒もいた。人に教える活動を通して、自分の技能を認められるとともに成就感を味わうことができた。この後、6年生は教えてもらったことを実践し、さらに1年生に教えに行くというつながりのある活動ができた。



3. 工夫点

検定練習の際には、お互いの良さを認めたりお互いを高め合ったりできるようになってほしいと考え、生徒同士でアドバイスし合いながら学習を進めるようにした。

教師側の技能向上として、まず教師が同じポイントで指導できるようにするために担当教師全員で夏季に行われる「清掃検定講習会」に参加した。また、検定内容にかかわらず清掃技能を高めるために、清掃会社から指導を受ける機会を設けている。

4. 実践の評価（成果と課題）

(1) 成果

清掃検定を通して自分たちの基本技能を身に付ける。そして、技能を発揮して人から認められる経験をする。さらに、自分のできるようになったことを誰かに教える。という流れのある活動をすることができた。1級や金賞を取ることで得る達成感だけではなく、人から認められる喜びを感じることや人の役に立つ経験をすることができた。

(2) 課題・展望

今後も県検定において、結果を残すことだけにこだわるのではなく、清掃を通して頑張りが認められる経験や「自分にもできる」「人の役に立った」という自己有用感や成就感の味わえる活動をしていきたい。